

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌における脈管侵襲の臨床病理学的意義についての検討
	研究目的	胃癌における病理組織学的脈管侵襲の意義について検討を行い、予後との関連を明らかにする
	研究対象者	当院で胃癌に対して根治切除術を施行した症例（2000年-2018年）
	研究期間	西暦 2019年 10月 9日 ~ 西暦 2024年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者 の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	該当なし
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	該当なし